



## 現実主義と理想主義

### ① 対義語

皆さんは「対義語」という概念を知っていますよね？ いうまでもなく、反対の意味を持つ言葉です。たとえば「安全」の反対は「危険」。「成功」の反対は「失敗」ですよね。では「理想」の反対はなんでしょうか？辞書を引くと「現実」と出ています。であるなら、「理想主義」の対義も「現実主義」となります。しかし、果たしてそうでしょうか？ 見方を変えれば、両者は対義ではなくなる、と思うのです。

いっぽんに日本において「現実主義」といえば、「現実はこちらだから仕方がない…」という、現状追認主義として理解されることが多いように思います。しかし、本当の意味での現実主義とは、現実をよく分析し、理想を実現するための具体的な方策を考え、実行していく態度のことを言うのです。現状追認主義とは全く違います。

また、いっぽんに日本において「理想主義」といえば、「それは理想論に過ぎない」というように、時にネガティブな意味で使われることがあります。もちろん、理想を言うだけで実行が伴わなければ、それこそ「口だけ」になってしまいます。理想や願望を言うだけなら誰にでもできます。しかし本当の意味での「理想主義」とは、理想を実現することを諦めないこと。理想や目標を実現するために具体的な努力をし続ける態度のことを言うのです。



### ② 地に足の着いたリアルな力とは

誤解を恐れずに言えば、現実主義と理想主義は対義の関係にあるのではなく、同様の態度を違った角度から表現している、とも言えるのです。

そしてこれらのことは、皆さんが希望進路を実現するために必要な力となってきます。理想を現実のものにするリアルな力が必要なのです。「〇〇大学に入りたい」とか「警察官になりたい」など、希望を言うだけなら簡単です。大事なものはそこから先です。

何をどうやれば目標を実現できるのか？？そこを考え、調べて、具体的な方策を実行する。

その方策は自分で調べる。本で、ネットで、『進路の手引き』で…。あるいは友達や先輩に相談する。先生にも相談する。やろうと思えばいつでも出来ることです。今すぐにも始められることです。

### ③ 「主体的に考え、行動する力」との関係

そういう能力は、いま言われている「新しい学力観」ともつながってきます。

脱工業社会、超少子高齢社会、人口減少社会、AI が様々な所に利用される社会…。これらのワードで表される現代の社会においては、学校の先生や文部科学省、政治家たちが「これからの時代、高校生はこういうふうにはやっておけば大丈夫！」と言える「解」を示すことができません。なぜなら、日本は、世界中のどこの国の誰もが経験したことの無い「未体験ゾーン」に入っていくからです。

文部科学省が言うところの「新しい学力観」。すなわち主体的に考え、判断し、表現し、実行する能力。これらは解のない時代を生き抜いていくために必要な能力でもあるのです。簡単に言うならば、「この先どうなるか予測できないから、社会がどうなったとしても生きていける力を養って欲しい」。そういうことです。

大学入試改革を巡っては、「英語成績提供システム」や「記述式問題」の見送りが決定しましたが、その主たる理由は、入試で最も重要な公平性が担保できないというものであって、英語4技能の必要性や、物事を論理的に考え、表現する力の重要性は変わっていないのです。

### ④ 那珂高校の皆さんへ

那珂高校の皆さんはとても良い心の持ち主です。真面目で、優しい心、思いやりの心を持っています。これからはその良さのうえに、より勉学に励み、高い進路目標を実現するために具体的な方策を考え、それを力強く実行していきましょう。皆さんのためになることなら、先生たちはいつでも相談に乗ります。努力する人の味方ですから。

さあ、一緒に頑張りましょう。

